

# 日立ダクト用換気扇

## TPE-08GS、TPE-08G形

トイレ・洗面所用

このたびは日立ダクト用換気扇をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。  
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。  
お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

### 安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■ここに示した注意事項は

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

<b>警告</b>	この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
<b>注意</b>	この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

絵表示の例

	「警告や注意を促す」内容のものです。
	してはいけない「禁止」内容のものです。
	必ず実行していただく「指示」内容のものです。

### 警告

	修理技術者以外の方は、絶対に分解したり、修理・改造は行わない ●発火したり、異常動作してけがをすることがあります。		お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く、また、ぬれた手で抜き差ししない ●感電やけがをすることがあります。
	交流100V以外では使用しない ●火災・感電の原因となります。		水につけたり、水をかけたりしない ●ショート・感電の恐れがあります。
	メタルス張り、ワイヤス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属ダクトとメタルス、金属板とが電氣的に接触しないように取り付ける ●漏電した場合、発火することがあります。		電源プラグは刃及び刃の取付面にほりかが付着している場合は、よく拭く ●火災の原因になります。

### 注意

	電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く ●感電やショートして発火することがあります。		長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く ●絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。
	お手入れの際は、必ず手袋を着用する ●板金の端などでけがをすることがあります。		運転中は危険ですから、羽根の中に指や物を入れない ●けがの恐れがあります。
	浴室など湿気が多い場所では絶対に使わない（浴室用換気扇をお使いください） ●感電および故障の原因になります。		羽根や部品の取り付けは確実にを行う ●落下によりけがをすることがあります。
	本体の取り付けは十分強度のあるところを選んで確実に行う ●落下によりけがをすることがあります。		直接炎が当たる恐れのある場所に取り付けない ●火災の恐れがあります。
	本体に異常な振動が発生した場合使用しない ●本体・部品の落下によりけがをすることがあります。		配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う ●誤った配線工事は感電や火災の恐れがあります。

### 寸法図および各部のなまえ

■TPE-08G

■TPE-08GS

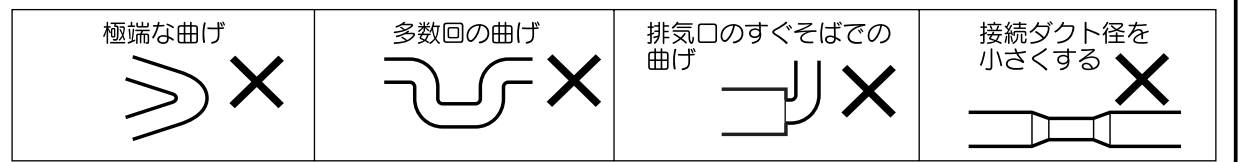
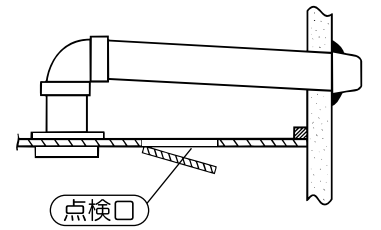
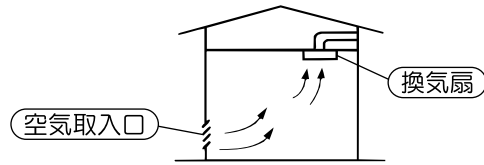
付属品

- 木ねじ………2本 ※本体取り付け用です。
- クッション……1本 ※TPE-08GSのみ。 ※VU管接続用です。

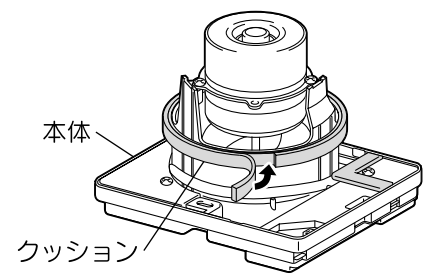
### 取り付けかた

#### ご注意

- 間仕切など障害物のあるところには取り付けないでください。（自動運転できません）
- センサー感知窓に直射日光・車のヘッドライトなどが当たる場所には取り付けないでください。（誤動作の原因になります）
- 地域によっては、ジャバラを使用できない場合がありますので十分ご注意ください。（詳細は行政官庁または消防署にお問い合わせください）
- 天井板は強度があり、共鳴しにくい材料（石膏ボード、木毛セメント板など）を使用してください。異常音や共鳴音が発生することがあります。
- 40℃を超える場所には取り付けないでください。プラスチック部品の変形や故障の原因になります。
- 電源スイッチは、両切りスイッチをご使用ください。片切りスイッチを使用する場合は電圧側に接続してください。
- 粉じんなどの多いところ（養鶏所など）には取り付けないでください。故障の原因になります。
- 有機溶剤を使用するところには取り付けないでください。合成樹脂部品が変色・変形することがあります。
- 接続ダクトは室内側に結露水がたれないように屋外側に向い下りこう配（1°～2°程度）になるようにしてください。
- 点検口を必ず設けてください。
- 密閉された部屋で使用する場合は効率よく排気するため、100cm<sup>2</sup>程度の空気取入口を換気扇と反対側の位置に設けてください。
- 次のような配管工事はしないでください。風量が減少したり、騒音が高くなる原因になります。



#### 接続ダクト別準備 ※TPE-08GSの場合



- VP管・鋼板管の場合
- 付属のクッションは使用しません。
- VU管の場合
- 本体パイプ部クッション上に付属のクッションをかさねて巻き付ける。

#### ダクトの取り付け

##### 壁面に取り付けの場合

##### 天井面に取り付けの場合

##### 壁穴へのダクトの固定

- ① 壁厚に応じてダクトの長さを決めます。  
● ダクトには塩化ビニル管の薄肉（VU）管と厚肉（VP）管および鋼板管があります。必要に応じたダクトの長さを決めてください。
- ② 壁穴にダクトを差し込み確実に固定します。  
● 固定が不十分だと振動したり異常音が発生する原因になります。  
● ダクトは室内壁面より出ないように差し込みます。

##### 野縁工事とダクト配管

- ① 左図のように野縁工事をし、ダクト配管をします。
- ② ダクトの中心から天井板まで185mm以上離して天井板をはります。

#### 電気配線

##### 警告

- 交流100V以外では使用しない  
● 火災・感電の原因になります。

##### 注意

- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う  
● 誤った配線工事は感電や火災の恐れがあります。

● 電源スイッチは両切りスイッチをご使用ください。片切りスイッチを使用する場合は電圧側に接続してください。

● 内線規程に基づくコンセントを屋内の換気扇近傍に設けてください。

片切りスイッチの場合の結線

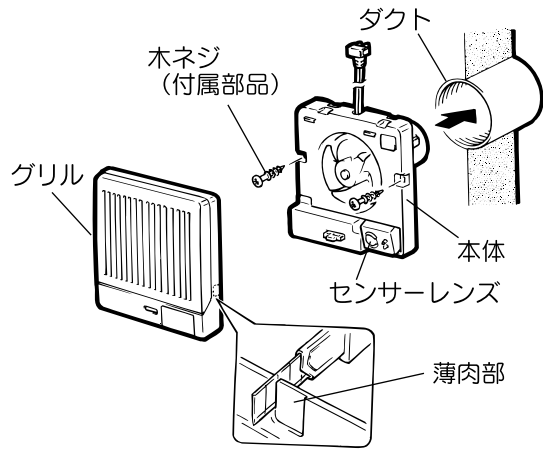
● 電気配線は必ず専門の電気工事店へご依頼ください。  
● コンセントは製品に含んでおりませんので、工事の際にご準備ください。

#### 本体の取り付け（壁面取り付け・天井面取り付けともに同様の取り付けかたです）

- ① グリルを本体からはずします。
- ② 本体を天井に取り付ける場合はセンサーレンズが水平になるよう手でセンサーレンズの箱の上側を押して方向を変えてください。（センサーレンズの向きは、工場出荷時に壁取付時感知範囲に設定してあります）

# 取り付けかた(続き)

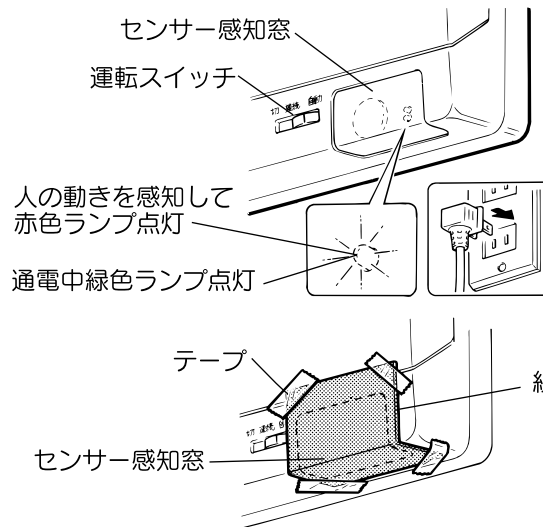
## 本体の取り付け(続き)



- ③ センサーを人に近い方向にして本体をダクトに差し込み付属の木ネジ(2本)で壁・天井面(野縁)に固定します。
- ④ グリルを本体に取り付けます。  
●グリルの方向を間違えないよう本体にはめ込みます。
- ⑤ 電源プラグを専用のコンセント(単相100V)に差し込みます。電源コードを左右から出す場合は薄肉部を切り欠きます。
- ⑥ 以上の工事が終わりましたら本体とグリルが確実に取り付けられているか確認してください。

## 試運転

取付工事が終わりましたら、下記の要領にて試運転を行ってください。



- ① 運転スイッチを「切」の位置にします。
- ② 運転スイッチを「自動」にしますと通電ランプ(緑色)が点灯し、約1分間強制運転します。その後センサー(自動)運転に切りかわりますのでセンサーが人を感知するよう手などを動かしますと感知ランプが人の動きに合わせて点滅し約3秒後に換気扇が回ります。
- ③ その後紙を用意して図のようにセンサー感知窓をテープなどで止めてふさがせると約11分間(±30%)運転した後停止します。
- ④ 紙をはずしてセンサーが人を感知すると、再び運転が開始されます。

# 運転のしかた

この換気扇は人の動きにより自動的に運転・停止(TPE-08GSの場合は同時にシャッターが「開」・「閉」)をしますので、お客さまが操作する必要はありません。換気扇の運転スイッチは常に「自動」状態にしておいてください。市販の埋込スイッチがある場合は常に「入」状態にしておいてください。

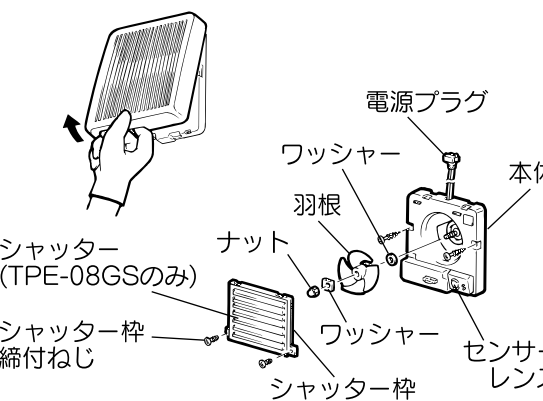
感知範囲	運転モード												
<p>左右方向</p> <p>感知距離 2.5m</p> <p>上下方向</p> <p>天井(または壁)</p> <p>壁(または天井)</p> <p>壁または天井</p> <p>天井取付時感知範囲</p> <p>壁取付時感知範囲</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●人の動き以外でも次のようなことで換気扇が運転されることがありますが故障ではありません。             <ul style="list-style-type: none"> <li>●赤外線ストーブ</li> <li>●強力な電気雑音</li> <li>●大きな振動・衝撃</li> <li>●動物の動き</li> </ul> </li> <li>●光や温度の急激な変化</li> </ul>	<p>※運転スイッチが「自動」の状態のとき下記の運転モードとなります。「切」にしますと停止します。「連続」にしますと常に運転します。</p> <p>※電源投入直後約1分間は、運転スイッチが「自動」でも強制運転します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>人の動き</th> <th>換気扇の働き</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トイレに入る</td> <td>センサーが人を感知 約3秒後</td> </tr> <tr> <td></td> <td>運転開始・シャッター「開」</td> </tr> <tr> <td>トイレより出る</td> <td>センサーが人のいないことを感知</td> </tr> <tr> <td></td> <td>約11分間運転継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td>停止・シャッター「閉」</td> </tr> </tbody> </table> <p>※無人時にファンが停止していることを確認してもらっために人を感知して約3秒後に運転するパターンとしています。</p> <p>※入室中でも長時間(約11分間)人の動きが少ない場合は運転を停止することがありますが、この場合はセンサーが感知できるよう手などを動かしてください。</p> <p>※長期間ご使用にならない場合などは電源プラグをコンセントより抜いてください。</p> <p>この換気扇は自動運転タイプですので電源プラグを差し込んだままですと約1.0Wの電力を消費します。</p>	人の動き	換気扇の働き	トイレに入る	センサーが人を感知 約3秒後		運転開始・シャッター「開」	トイレより出る	センサーが人のいないことを感知		約11分間運転継続		停止・シャッター「閉」
人の動き	換気扇の働き												
トイレに入る	センサーが人を感知 約3秒後												
	運転開始・シャッター「開」												
トイレより出る	センサーが人のいないことを感知												
	約11分間運転継続												
	停止・シャッター「閉」												

# お手入れのしかた

約3か月に1度を目安に各部の掃除をしてください。

警告	注意
<p>お手入れの際は必ず電源プラグを抜く また、ぬれた手で抜き差ししない ●感電やけがをすることがあります。</p>	<p>お手入れの際は必ず手袋を着用すること ●薄板の切口などでけがをすることがあります。</p>
<p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●シンナー・灯油・みがき粉・アルカリ性洗剤などは使用しないでください。プラスチック部品が変形・変色します。</li> <li>●60℃以上の熱湯は使用しないでください。プラスチックの部品が変形します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本体の突起や角でけがをしないように静かにふいてください。</li> <li>●化学そうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。</li> </ul>

## 各部品の取り外しかた

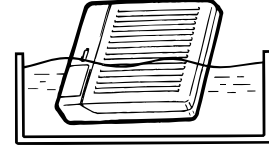


- ① グリルを手前に引きながら斜めに持ち上げてはずします。
  - ② TPE-08GSの場合シャッター枠縮付ねじ(左右2か所)をはずし、シャッター枠を手前に引きながら斜めに持ち上げてはずします。
  - ③ ナットを右に回してはずし、羽根を手前に引き出します。
- ご注意
- 羽根を取りはずすとき羽根の前後に固定用のワッシャーがありますのでなくさないようにご注意ください。

# お手入れのしかた(続き)

## グリル・羽根・シャッター

汚れが目立つようになったら本体からはずして、中性洗剤を溶かしたぬるま湯につけて洗ってください。汚れを落とすあと、洗剤が残らないように水洗いしてください。



## 本体

### 警告

- 水につけたり、水をかけたりしない
  - ショート・感電の恐れがあります。
- 中性洗剤を溶かしたぬるま湯に浸した布で汚れをふき取ってください。汚れを落とすあと、洗剤が残らないよう十分ふき取ってください。
- センサーレンズは乾いた布で汚れを落としてください。

### 注意

- 羽根や部品の取り付けは確実にを行う
- 落下によりけがをすることがあります。

お手入れ後部品を取り付けます。部品を取り付けたあと次の項目について確認をしてください。

- 羽根を手で回転させたとき軽く回転すること。
- グリルが確実に取り付けられていること。
- 異常な振動や騒音がないこと。

# 故障かなと思ったら

修理を依頼される前に

次の点をもう一度お調べください。

症状	点検するところ
スイッチを入れても回転しない	プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。運転スイッチが「切」になっていませんか。(「自動」または「連続」にします)

# アフターサービス(必ずお読みください)

補修用性能部品の最低保有期間	ご不明な点や修理に関するご相談は
換気扇の補修用性能部品の保有期間は製造打切り後6年です。 ●補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。	修理に関するご相談ならびに不明な点は、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは	出張修理
本ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用中を中止し、お買い上げの販売店にご連絡ください。	
ご連絡していただきたい内容	修理料金の仕組み
品名 換気扇	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器など設備費、一般管理費などが含まれます。
形名	+
お買い上げ日 年 月 日	部品代
故障の状況 できるだけ具体的に	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
ご住所 付近の目印なども併せてお知らせください。	+
お名前	出張料
電話番号	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。
訪問ご希望日	

愛情点検	★長年ご使用の換気扇の点検を
<p>ご使用の際、このような症状はありませんか?</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スイッチを入れても時々羽根が回転しないことがある。</li> <li>●回転が遅い。または回転が不規則である。(排気が弱い)</li> <li>●運転中に異常な音や振動がある。</li> <li>●焦げ臭い「におい」がする。</li> <li>●その他の異常がある。</li> </ul>
	<p>ご使用中</p> <p>このような症状のときは、故障や事故防止のため、スイッチを切り、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。</p>

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ  
なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は	商品情報やお取り扱いについてのご相談は
TEL 0120-3121-68	TEL 0120-3121-11
FAX 0120-3121-87	FAX 0120-3121-34
(受付時間) 365日/9:00~19:00	(受付時間) 9:00~17:30/携帯電話、PHSからもご利用できます。日曜・祝日と年末年始・夏季休暇など弊社の休日は休ませていただきます。

# システム部材

システム部材は、取付方法により必要になります。詳しくはカタログをご覧ください。日立の家電品取扱い店にてお求めください。

# 仕様

形式	消費電力(W)	風量(m³/h)	電源100V 50/60Hz	
			質量(kg)	
TPE-08GS	5.7/5.8	60/70	1.0	
TPE-08G	3.2/3.3	60/70	1.0	

お客様メモ 後日のために記入して 購入店名 電話 ( ) -

おいてください。 サービスを依頼される とき、お役にたちます。 ご購入年月日 平成 年 月 日

日立 ホーム&ライフソリューション株式会社  
〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12  
電話 (03) 3502-2111

株式会社 日立産機システム  
〒101-0022 東京都千代田区神田練馬町3番地AKSビル  
電話 (03) 4345-6000 代

株式会社 日立空調システム  
〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-23-2  
電話 (03) 3255-7271

株式会社 日立GEライティング  
〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-5-2  
電話 (03) 3255-5255